

「至高の慈悲心」(サーカー)

21世紀 道徳的荒野。

他の文明との強いられた出会いによって複雑な倫理的ジレンマが発生。

○個人と社会変容のための倫理

- ・単純なモラルリティ
スピリチュアルなモラルリティ (ネオヒューマニズムと基本的人間価値)
- ・支配階級によるモラルの支配 排除と権力の年代記。 176
- ・社会と個人の生活にプラマーを回復すること

○10の普遍的原理

- ・ジャーマ
- ・ニヤーマ

○法的正義の基礎としての基本的人間価値

- ・刑務所の収容人口 USA 25年間に、19万人→200万人以上

50人の子供のうち1人：親が刑務所

Cf. ノルウェー、日本 1300人に1人、USA 100人に1人 過剰収容の問題

・死刑 社会は個々人の社会復帰に努力すべきで、それができないのであれば、人を死刑にして殺す権利はない。 185

- ・裁判官 教養、透徹した知性、良い性格と賢明さ

○更生的司法 (=修復的・教育的司法、 ⇔懲罰的司法)

- ・変容と改心 自分の悪い行いを認め、傷つけられた犠牲者の存在を認めることから始まる。
- ・更生的司法会議

○本人の変容のための再教育センター

- ・刑務所ではなく、改心学校、矯正キャンプを 188

○ヨーガと瞑想を通じた囚人の変容

- ・プリズン・フェニックス・トラスト (イギリス) There are 150 regular classes in 85 prisons in the UK and Ireland,

18 of them for staff. The PPT has its offices in Oxford and is run by 2 full-time and 6 part-time staff, with the help of 20 volunteers. Its Director is Mrs Sandy Chubb.

○薬物乱用は健康問題である

(参考)

1. 懲罰的司法、厳罰主義の問題

- ・原理として、反共同体の行為(者)を懲らしめ、共同体の秩序を守る。人権<社会秩序
- ・社会が多様・異質な人々から成っている(分業=協業)→それぞれの個人の大切さ→修復的

2. 修復的司法 (restorative justice) は、現在、司法及び関連分野を中心に世界的な広がりを見せつつある紛争解決法を指すものである。そのルーツは、1974年にカナダのオンタリオ州キッチナーで行なわれたのが始まりであるとされるが、・・・

修復的司法プログラムには、現在、被害者-加害者メディエーション (Victim-offender mediation, VOM)、家族集団カンファレンス (Family group conferencing, FGC)、コミュニティ集団カンファレンス (Community group conferencing, CGC)、コミュニティ・メディエーション・センター (Community mediation centres, CMC) などがあるix。VOMは、文字通り、被害者のニーズ (例えば、何故他ならぬ自分が被害者として選ばれたのか、加害者は一体どんな人間なのかなどの知る権利、と同時に、直接、謝罪の言葉を聞きたいなど) を満たすことに重点を置いている。FGCは、ニュージーランドなどで行なわれている、主に少年を対象とした修復的司法であり、非行少年の処遇に核家族や大家族を巻き込むことによって、少年の更生を助け、再犯を予防することを目的としたものである。そして、CGCは、主にオーストラリアの先住民を対象としたプログラムで、先住民の加害者が加害行為の責任を取れるようにエンパワーメントし、先住民の被害者をサポートすることを目的としている。これは、先住民の価値観と西欧的な価値観に由来する司法原理との相互理解を目的としたものである、ということができる。CMCは、主にアメリカに見られるローカル・プログラムで、刑事から民事までも網羅するADR (裁判外紛争処理Alternative dispute resolution) サービスを提供し、また、その他にインフォーマルな事件 (例えば、学校内の問題など) をも扱う。 (鴨志田 康弘)

3. 未来への提言「犯罪学者 ニルス・クリスティ～囚人にやさしい国からの報告～」

BS1 2009年10月25日(日) 午後8:10～午後9:00(50分)

ノルウェーの刑務所 受刑者は自由な服装、個室出入り自由。テレビ、パソコンあり。冷蔵庫は材料が一杯、台所には包丁 (ひもで固定) もあり。受刑者同士や刑務官とも一緒に食事。

島の刑務所は、島全体が受刑者社会。普通の住居。本土の自宅へ時々帰れる。

アメリカ 過剰収容。出所しても元の犯罪的グループにしか受け入れ先はない。すぐまた刑務所へ。

3 strike 法 :

4. 日本の裁判員制度の問題点

○日本国憲法の理念は、民主主義も重要ですが、それ以上に基本的人権の保障こそが重要なのです。しかし、その民主主義も、その時の多数派の意思ですから、絶対に誤りを犯さないとも限りません。それを是正するのが司法権 (裁判所) の役割、違憲立法審査権なのです。裁判官は、憲法と良心によってのみ判断すると規定されていますが、それは、基本的人権の保障を全うするためなのです。

そして、それを裁くのは、憲法上、職権の独立を保障された裁判官である必要があります。犯罪を行ったかどうかは、多数決や民意で決まるものではありません。あくまで証拠に基づいて有罪を認定できる事実を認めることができるかどうかが重要なのです。 (HP, 北海道裁判員制度を考える会)

○検察側が圧倒する公判運営

郡山の事例では、証人を傍聴席に置いたまま、検察官が当人の調書を朗読した。当人が話さずに、「調書」で検察側から見た事件像をまず裁判員と裁判官に刷り込む。…被害感情を軸にした証拠調べ。…裁判員裁判は、これまでのところ被告を「社会の敵」(厳罰) と「たまたま間違いを犯してしまった隣人」(情状酌量) という分極化… 検察官4人に対して弁護人1人… (五十嵐二葉弁護士、091022朝日朝刊)